

あたたかい
心のひかる
福祉のまちづくり

岡山市連合婦人会会報

平成31年3月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
岡山市中区小橋町 塩見 横子
編集部 〇四六八八四六八
印刷所
岡山市北区表町一丁目四〇
株内外総合通信社

和やかに新年互礼会 扇舞で 会食やし物楽しむ



岡山市連合婦人会の
新年互礼会が平成三十
一年一月十日ピュアリ
ティまきびで開催され
ました。参加会員は百
余名、大森雅夫市長は
じめ、宮武市議会議長、
市議会文教委員の皆
ました。

新年互礼会であいさつする塩見会長（ピュアリティまきび）

新年あいさつ

力を結集し活動遂行



会長
塩見横子

新年あけましてお
めでと〜ございま
す。

お高いところから
ではございますが、
一言ご挨拶を申し上
げます。

本日の新年互礼会
には、大森市長様
宮武議長様をはじめ
多数のご来賓の皆様
のご臨席を賜り誠に
ありがとうございます。

昨年、七月の西
日本豪雨で岡山市で
も各地域で甚大な被
害を受けましたが、
我々連合婦人会で
は、日本赤十字社を
通じて百五十二万円
余りの義援金をお届
けすることができま
した。会員皆様のご
協力ありがとうございました。

さ、私たちは「自
ら学習して行動す
る」そして「一人で
は出来ないことをみ
んなの力を結集して
成しとげる」という
連合婦人会の精神を
モットーに地域の活
性化や高齢者の福祉
向上、子どもの健全
育成に取り組んでお
ります。本日ご臨席
を賜りました久世連
合町内会長をはじめ

合町内会長をはじめ
ご来賓の先生方皆様
の引き続きのご指導
ご支援をよろしくお
願い申し上げます。

この後、新年互礼
会恒例の来賓有志に
よるお祓い、七福神
を予定していますの
で、お福を頂戴して
いただきますと思い
ます。

最後になりました
が、皆様方のご健康
とご活躍を祈念いた
しまして開会のご挨拶
といたします。

はじめ
に、角山学
区有森孝子
さんによる
おめでたい
扇舞で幕開
けしまし
た。



大森市長扮する神主のお祓いを受ける婦人会員ら

ごろの近所つきあいが
大切で、災害などの時
近所で助け合
うことが必要
となってくる
など。今年は
災害のない年
となつて欲し
いとのことだ
した。



テーブルごとに趣向を凝らし出演した皆さん

いを受けていました。
今年もテーブルごと
に、出し物を求められ
ましたが、時間が限ら
れており、三分経つと
チンと鐘がなりまし
た。時間が短いことも
あり、「ぼっぼっぼ」
しか歌わないグループ
もあって笑いを誘って
いました。

栄えある賞を我が福
浜学区にこのお話をい
ただきました時、在り
し日の横山民会長のお
声やお姿が彷彿とし、
うれしさがこみ上げて
まいりました。

市民のけん引役期待

愛の泉賞

横山民賞 奥原宏子さん、福浜学区

平成三十一年二月七
日、岡山市役所におい
て第三十回「岡山市愛
の泉賞」の表彰式が行
われました。

大森雅夫市長がこれ
からも市民のけん引役
として活躍してほしい
と表彰状と記念品を受
賞者に手渡されまし
た。

今年度は、まちづく
り賞・福祉賞・横山民
記念賞に該当があり、
六人と二団体が表彰さ
れました。

その中で横山民記念
賞を受賞されたのは、
（個人）奥原宏子
婦人会で名誉ある横
山民賞をいただき身に
余る光栄と感謝の気持
ちでいっぱいです。ふ
り返れば皆様に支えら
れて楽しく活動をさせ
て頂きました。個人で
は何もできませんが地
域でのつながりが素と
なり色々と勉強ができ
ました。今後も地域で
の絆を大切に生活して
まいります。

「岡山市愛の泉賞」
は、市民福
祉の向上、
伝統文化の
保存・継承、
青少年の健
全育成、男
女共同参画
の促進、明
るく住みよ
いまちづく
りなどに貢
献された個人
や団体を
毎年表彰し
ます。



市長と婦人会関係者。喜びの個人
受賞者奥原宏子さん（右から3人
目）と団体受賞の福浜学区（会長
松井春代）の皆さん（右端の2人

お知らせ

平成31年度 婦人大会

主催：岡山市教育委員会
共催：岡山市連合婦人会
岡山市連合婦人会総会（9時30分開会）終了後、婦人大会を開催します。
一般の方の入場をお待ちしております。

- 日時：平成31年4月17日（水）11:00～12:20
- 会場：岡山市市民会館（岡山市北区丸の内2-1-1）
- 講師：ソプラノ歌手 村上彩子氏
- 演題：「私は夢に生きたい」
- 問い合わせ先：岡山市教育委員会生涯学習課
（☎086-803-1606）



<講師紹介> 村上彩子（むらかみ・あやこ）氏
福山市出身。大阪音楽大学卒業後、会社員を経て
2007年東京藝術大学声楽科卒業。学生時より全国か
ら約700回のコンサート依頼を受ける。台湾、韓国、フ
ランス、ウクライナ等7カ国で演奏。大阪国際コンクール他
受賞。NHK、フジテレビでも特集。13年より倉敷市在住。

個人で三敷学区元会
長・奥原宏子さん、団
体として福浜学区婦人
会（松井春代会長）で
した。おめでとうございます。
お二人に受賞
の言葉をいただきました。
（個人）奥原宏子
婦人会で名誉ある横
山民賞をいただき身に
余る光栄と感謝の気持
ちでいっぱいです。ふ
り返れば皆様に支えら
れて楽しく活動をさせ
て頂きました。個人で
は何もできませんが地
域でのつながりが素と
なり色々と勉強ができ
ました。今後も地域で
の絆を大切に生活して
まいります。

先代、先々代の会長
のもとで微力ながら伝
統を引き継いでまいり
ましたが、会員一同こ
の上の喜びはございま
せん。これからも連合
婦人会の一員として、
地道に活動を進めてま
いりたいと話し合っ
てまいりました。（会
長・松井春代）

神戸市の町づくり研修

目指す公共交通像学ぶ

評議員研修

岡山市連合婦人会学 町づくりの実現をめざした取り組みについて説明を受けた。岡山市でも岡山駅への路面電車の乗り入れが検討されています。宿泊のホテルフーツワローの夜の庭園では、きらめく光に包まれたイルミネーションがあり、その美しさとロマンチックな世界の造り出しの工程の展示を学ぶこと。神戸市役所では公共交通を中心とした人々にやさしく暮らしやすい

「現在」「未来」をわかりやすく展示して。最後に南京町の中華街を訪れ「天心」を片手に食べ歩きを楽しみました。

今回の研修は神戸市の公共交通を中心とした町づくりと食と暮らしについて学びました。



六甲山上のガーデンテラス前に44名全員集合

午後は、午後からは大原を駆けつけ、帆船の帆と波をイメージした白いスペースフレームの大屋根が特徴的な「神戸海洋博物館」を見学しました。航海計器や船具の実物やジオラマ模型等で海、船、港の過去



神戸市が目指す「神戸地域公共交通網形成計画」を話す神戸市職員と熱心に聞く評議員ら

公共交通の現状と目指す未来像

神戸市住宅都市計画部公共交通課の方から神戸市が目指す「神戸地域公共交通網形成計画」について説明があった。

▽タクシー車数が四分の一までに減少し利用者も減少している。

▽自家用車も免許返



「めんたいパーク神戸三田」の工場と直売所



「白鶴酒造資料館」を見学する評議員ら（神戸市東灘区）



船の帆と波をイメージした「神戸海洋博物館」（神戸市中央区）



南京町の中華街

納と若年層の減少で台数減という現実のお話でした。

そのような実情を踏まえ、「鉄道が基幹、バスが補完する役割を担うことを基本とし、バスやタクシーによる地域コミュニティ交通ワークにより、安全・安心で誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを実現します」という公

おかやまマラソン

プログラムやスポンサーからのチラシなど二十数種類を用意された布袋に詰めたいきました。その数は一万七千個。

連合婦人会から参加の四十名は三グループに分かれて袋詰め作業。その他ボランティアの方々も何列にも分かれて作業していきま

ボラ活動で大会支える

資料の袋詰め作業

婦人会員 40名



第四回おかやまマラソンが平成三十年十一月十一日に開催されます。それに先立って、資料の準備をします。資料の準備をします。

プログラムの種類も多し、大きさもまちまちなので、袋詰めも大変でした。後ろの人数に追いつけられないような状況で、必死に詰めたいきました。このボランティアもマラソン大会を支えている重要な役目なのだと考え、頑張りました。

が、おかやまマラソンはランニング専門サイト「ランネット」の2018年大会ランキングによる評価は全国一位だそうです。細やかな対応や岡山らしいもてなしで参加者の満足度が高かったようです。その一助となれたことを誇りに思います。

おかやまマラソン2018 平成30年11月10日 日曜日

おかやまマラソンボランティアセンター

「おかやまマラソン2018」の開催に貢献するため、ご多忙の中、ボランティアとしてご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ランナーのみなさんへ「準備ができていないこと、お断りさせていただきます。」

「ボランティアのみなさんへ、お断りさせていただきます。」

「ボランティアのみなさんへ、お断りさせていただきます。」

「ボランティアのみなさんへ、お断りさせていただきます。」

岡山県北区内山下二丁目1-1 岡山市北区内山下二丁目1-1 岡山市北区内山下二丁目1-1

TEL: 0861-226-7908 FAX: 0861-226-7909

7-Mile Volunteering Association

おかやまマラソンボランティアセンターから婦人會に頂いたお礼状

全員評議員講演会で開会あいさつをする塩見会長（市役所7階大会議室）



食品表示の改正点学ぶ

全加工食品に原材料産地表示

全員評議員会
全講 講演

平成三十年十一月十日
二日岡山市役所七階大
会議室で百二十名の参
加で全員評議員講演会
が、ありました。

示企画課食品表示調査
官・金杉あずみ氏の「新
たな加工食品の原材料
産地表示制度」の講演

で、新たな加工食品の
原料産地表示制度に
ついて。続いて、消費
者庁食品表示企画課食
品衛生係員・白川祐一
氏の「食品添加物の表
示制度」の講演でした。
新たな表示義務の開
始は平成二十九年九月
一日、ただし、平成三
十四年三月三十一日ま
での間は猶予期間で
す。

原材料産地表示は生
鮮食品の場合はその産
地が、加工食品の場合

消費者大学

学習し賢い生活者へ 防災と住宅に関する講演



全員評議員講演会「変わる食品表示制度」等を学ぶ会員ら

はその製造地が表示さ
れます。平成二十九年
九月以降（改正後は
すべての加工食品に義
保健所、厚生労働省や

務付けになり
ました。「食品添加
物って何ですか？」
「食品添加物は食べ
ても安全ですか？」
など会場からも安全
性についての質問が
続きました。あらゆる
の評価・審議を経て指
定されているので安
全性が確認されている
とされています。食品
添加物についてわか
らないことがあれば
保健所、厚生労働省



マスクを口に当てながら、被災地でのボランティア活動について話す神田氏

十一月の恒例行事と
なりました岡山市消費
生活センター主催の消
費者大学が、今年度は
二日に分けて岡山市北
区下石井ピュアリーテ
ィマきびで開催され、市
民・婦人会員延べ七十
八名が参加しました。
初回は平成三十年十
一月十五日「平成30年
と自分と考える」同じ

七月豪雨に学ぶ防災と
災害時の消費者トラブ
ルを講師「日本防災
士会岡山県支部支部
長・神田敬三氏の講演
で学習しました。
晴れの国岡山も例外
なく被災地域となった
ことから、防災協働社
会の大切さと自分のこ
とを自分で考える「同じ



戸建て住宅に長く住み続けるためのポイントを話す藤野氏

人が過去の成功体験に
よって動くため、安心
して逃げられる方法を
探し、避難の成功体験
を積み重ねることが考
えさせられるお話をし
た。
十一月二十六日には
住宅について講師「消
費者力開発協会住生活
講師・藤野珠枝氏」戸
建住宅に必要な知識、
今の住まいが住み継が
れたら嬉しいな、安全
に暮らし続けること
は長期計画が必要との
テーマで講演されまし
た。改めて賢い生活者
となり地域にまた次の
世代に継承することの
大切さも学ばせて頂き
ました。

旗振りランナー応援

本部で案内と湯茶接待も

山陽女子ロード



沿道で手旗を振って応援する御野学区婦人会員ら

毎年恒例の第三十七
回山陽女子ロードレ
ス大会が平成三十年十
二月二十三日（日・祝）
に行われました。
「有森裕子杯ハーフ
マラソン」と「人見絹



シテイライトスタジアムの本部で湯茶の接をする婦人会員

聞くことができる、等
会でした。
食品安全委員会、表示
については消費者庁に
多くの知識を得る講演
会です。
そのうちのひとつ、御
野学区の婦人会員も五
十本のタスキと、御野
学区体育協会の方より
頂いた手旗を振り応援
しました。
近年にないおだやか
で暖かい天候でした
が、選手の方々に
少々暑く感じられたの
ではないでしょうか。
それでも私たちの目
前を一生懸命走り去っ
ていく姿に感動をいた
だきながら、「東京五
輪に向けて頑張っ
て」と黄色い声援を力
一杯送り続けました。

婦人文化祭

文化活動の成果発表

20グループ
200人出演

会員の親睦、交流深める



福島学区の合唱「ふるさとは今もかわらず」「花は咲く」



三垣会長（平福学区）の熱心な指導により、苦節3年、初披露の「岡山城」を舞う岡山中央の民謡教室のメンバー



総踊り「バハマ・ママ」「やとさ」で、最後は全員で盛り上がりました

平成三十年十月二十
六日岡山市民文化ホ
ルにて、第四十三回岡
山市婦人文化祭が開催
され塩見会長より一日
頃の文化活動の成果を
発表し会員相互の親睦
や交流をはかりまし
う」と開会のあいさつ
各学区・地区婦人会
の皆さんによる演技が
披露されました。レク
ダンス、民謡、日本舞
踊、フラダンス、大正

最後は出演者や観客
と一緒に舞台上と
客席で「バ
ハマ・ママ」
等を踊り盛
り上がりま
した。厳正
な審査のも
と、表彰式
ではユニ
クな賞を全
グループが
いただき、
笑顔がこぼ
れました。
またロビ
ーでは、恒
例のコーヒ



1階ロビーで開かれたコーヒ
喫茶でホッと一休みする皆さん

しました。郷土の芸能
等を伝承し広めていく
こと、私たち婦人会員
が地域で頑張る地道
に取り組むことへの意
気込みが感じられま
す。

親子でわくわく体験

岡山ドームで子育て支援機関が連携
子どもまつり

青少年団体や子育て
支援団体が一堂に会
し、子どもたちの遊び
と体験活動の機会をつ
くるとともに子育てに
関する情報と学びを発
信し子育て支援の輪を
広げる趣旨で岡山市等
が主催する「わくわく
子どもまつり in 岡山
ドーム」が平成三十年
十一月四日岡山ドーム
で開かれました。
今回は十五年目で一
万五千人の参加でし
た。
婦人会は、例年とお
り「お花を咲かそうよ
と「ひまわりうどん」
で参加しました。子ど
もたちと布のチュリ
リです。
屋外では恒例の温か
いおうちの屋台を出
し「美味しくて汁まで
完食」の声にうれし
い交流が生まれました。若
い親子や子どもの姿に
力を感じました。
今年度は十一月三日
（日）開催です。お楽
しみに！



「お花を咲かそう」ブースで大活躍の婦人会員ら

若者の出会いお手伝い

料理教室やお茶会で集い

岡山市では、独身
男女の素敵な出会い
を応援する事業「出
会いのひろば」を今
年度三回開きまし
た。そのうち二回を
岡山市連合婦人会が
共催してお手伝いし
ました。
一回目は、去る十
二月九日（日）桑野
の岡山ふれあいセン
ターで「クリスマス
クッキング教室」が
開かれ、婦人役員が
各班一名補佐につい
て、男女仲良く、ク
リスマス料理四品を
作り、参加者のみで
の会食。その後クリ
スマスの飾りつけが
された別室で、交流
会・自己紹介・プレ
ゼント交換・お見合
い回転し等、レク
レーションで和気あ
いあいと更に交流を
深めていただきました。
一回目は、年が改
まり、二月三日（日）、
岡山プラザホテルで
「出会い広がるティ
ーパーティー」が開
かれ、男女四十三名
が参加。塩見会長は
じめ役員四名が参加
して、受付・司会進
行・ティーパーティー
での声掛け等、お
手伝いしました。
塩見会長の挨拶で
始まり、有限会社チ
アーズの神崎先生・
松嶋先生の「出会い
から次のステップを
踏み出すための男女
別のスキルアップ講
座」の後、別室で自
己紹介・ティーパ
ーティー・ビンゲー
ム等楽しい時間を過
ごしていただき、和
やかな雰囲気の中、
バレンタインも近い
ので、ささやかなチ
ョコレートを全員に
プレゼントしてお開
きとなりました。
両会の参加者の中
から多くのカップル
が誕生してくだされ
ばと願っています。
少しでもお役に立て
ば幸いです。

編集後記

活力ある春到来願う

岡山では昨年未曾有の災害に見舞わ
れ、多くの方々が大きな悲しみを心に
抱きました。
岡山市連合婦人会も心を痛めなが
ら、ご助力や、災害へ立ち向かう勉強
心を培って参りました。婦人会の支援
活動及び、婦人の持つ力強いパワーを
多岐にわたり皆様にお伝えできませ
う。広報啓発部一同これからも頑張っ
て参りたいと思います。
今年が平成最後の会報となります。
今年度は家族ふれあいフェスティバル
が、荒天のおそれのため中止となり残
念な紙面もありました。そして来年度
は親しまれていた婦人ニュースがなく
なり、婦人会報のみ年三回の発行と決
まりました。引き続きご支援の程お願
いします。新聞発行にご協力下さいま
した皆様へ感謝申し上げますと共に、
勢いよく芽吹き、穏やかに活力のある
春の到来を願っています。